

## 加東市の公共交通施策に係る取組状況の報告について

## 1 交流の中核となる新たな交通結節点の整備 計画書 p.99～100★

バスターミナルの整備箇所、規模、形態、機能等について、庁内で検討を進めるとともに、神姫バス株式会社、やしろ商業開発株式会社等の関係機関と協議を行っています。平成30年度は、バスターミナルの整備候補地を市内部で決定しました。令和元年度は、用地取得に向け地権者との交渉を始めるとともに、基本設計業務に着手します。

## 2 パーク＆ライド推進のための駐車場等の確保 計画書 p.101～102

JR加古川線の利用者を駐車場の区画数が少ない滝野駅から社町駅へ誘導するよう、社町駅前の市営駐車場（月極）の空き状況を市ホームページで情報発信するなど、社町駅におけるパーク＆ライドを推進しています。また、社町駅は自転車の利用が多いことから令和元年度に駐輪場を増設し、利用者の利便性向上につなげます。増設後は、市のホームページや広報紙などで周知します。社町駅前市営駐車場の利用状況は、次のとおりです。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
月極駐車場 (区画数 34) 1月当たり平均	34台 (100%)	32台 (94.12%)	28台 (82.35%)	29台 (85.29%)	31台 (91.18%)
普通駐車場 (区画数 25) 年間累計	6,245台 (68.44%)	5,586台 (61.22%)	5,606台 (61.27%)	5,698台 (62.44%)	5,917台 (64.84%)

## 3 広域交通（鉄道・高速バス・路線バス）と連動した地域公共交通ネットワークの形成

計画書 p.105～106★

社三田線の運行ルート変更（久米経由廃止）及び米田ふれあい線の利用区間拡大については、米田地区の区長・自治会長や米田ふれあい線の運転手に説明を行いました。今後は、米田ふれあい線の利用区間となっていない上久米、下久米、久米の各地区の役員・住民を対象にした説明会を開催し、地域の了解を得るとともに、バス事業者、タクシー事業者、他の沿線自治体など関係機関と協議を行います。

## 4 高速バスの一層の利便性向上による定住化・交流の促進 計画書 p.107～108

加東市と大阪方面を結ぶ高速バスの利便性向上のため、始発を今より早い時間帯に、終発を今より遅い時間帯になるよう運行ダイヤを見直すことや、やしろショッピングパーク Bio 周辺に整備するバスターミナルを大阪方面行き的高速バスの発着点とすることについて、神姫バス株式会社及び西日本ジェイアールバスと協議を行っています。平成30年度は、市内4箇所の高速バス停留所で利用者数、利用者の属性、利用者の利用頻度等を調

べるヒアリング調査を行いました。令和元年度は、このヒアリング調査の結果も踏まえ、高速バス事業者と協議を行っていきます。

#### **5 タクシーの有効活用に向けた取組** 計画書 p.111～112★

福祉タクシー事業については、福祉部局において評価・検証した事業の効果を情報共有しています。また、乗合タクシーの導入については、既に導入している他市町の事例を集めるなど調査・研究を行うとともに、令和3年度の導入に向け検討を始めています。

#### **6 地域や学校、事業所を対象としたモビリティ・マネジメントの実施** 計画書 p.113～114★

##### **地域公共交通に関する情報提供、PR施策の展開** 計画書 p.119～120

##### **交通事業者のCSR活動による利用促進** 計画書 p.129～130

平成30年度は、10月28日の加東市秋のフェスティバル2018において、子ども向けのバス乗車体験イベントを神姫バス株式会社に協力いただき開催しました。参加者数は、大人と子どもをあわせて約450人でした。令和元年度も、バスに親しみを持ってもらい、バスによる移動について多くの方に考えてもらう機会を作るため、バス乗車体験イベントを開催します。あわせて、参加者にアンケートを行い、この取組の効果を検証します。また、平成31年3月の鉄道と4月のバスのダイヤ改正にあわせ、「加東市公共交通ガイドブック」を改訂し、市内に全戸配布するとともに、市の施設に置きます。

#### **7 情報通信技術（ICT）を活用した利便性の向上** 計画書 p.117～118

「交流の中核となる新たな交通結節点の整備」において整備するバスターミナルに、バスロケーションシステムと連動し、乗換利便の向上のためにデジタルサイネージやバスの行き先、発車時刻、遅延等を知らせる電光掲示板の設置について、神姫バス株式会社と検討を始めます。

#### **8 わかりやすく、利用しやすい運賃のあり方による利用者の増加** 計画書 p.123～124

上限運賃制度の導入には、市の財政負担が伴うこと、また、市町村運営有償運送の維持に影響を及ぼさない運賃設定をする必要があることから、ICカードを用いた上限運賃制度の他市町の事例を集めるなど調査・研究を行っています。

#### **9 地域の主体的な取組による移動手段の維持・拡大と新たな確保** 計画書 p.127～128★

市町村運営有償運送の米田ふれあい線、きよみず線及び平成31年4月に運行を開始したとうじょうあいあい線は、地域と十分に連携しながら、安全で確実に運行しています。米田ふれあい線及びきよみず線の利用状況は、次のとおりです。また、地域住民の移動手段として、地域との協働の取組が有効に機能していることから、地区・自治会の役員・住

民を対象とした説明会を開催し、地域住民の機運を高め、新たな地域での市町村運営有償運送の運行開始を目指します。

【市町村運営有償運送の利用状況】

米田ふれあい線	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
運行日数	95 日	96 日	93 日	96 日	92 日
年間利用者数	471 人	641 人	800 人	849 人	952 人
1 日当たり利用者数	4.96 人/日	6.68 人/日	8.60 人/日	8.84 人/日	10.35 人/日

きよみず線	平成 26 年度 (5 月～3 月)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
運行日数	91 日	98 日	100 日	99 日	100 日
年間利用者数	620 人	747 人	752 人	696 人	586 人
1 日当たり利用者数	6.81 人/日	7.62 人/日	7.52 人/日	7.03 人/日	5.86 人/日

★印を付している施策は、加東市地域公共交通網形成計画で定める重要施策です。